

平成 26 年度 岐阜工業高等専門学校シラバス					
教科目名	英語 A	担当教員	野々村咲子		
学年学科	5 年 M,C,A 学科	通年	必修	2 単位 (学修)	
学習・教育目標	(A-1) 10% (C-2) 90%		JABEE 基準 1 (1): (a) (f)		
授業の目標と期待される効果： これまでに身に付けた英語の基礎力・応用力をさらに拡充して、より高い自己発信的な英語運用能力を積み上げていくことを目標とする。 TOEIC の問題を学習し、TOEIC スコア向上を目指す。適宜、長文読解やニュース英語、ビデオ教材なども取り入れる。英文法、英語構文および語彙の知識を深め、英語コミュニケーション能力を高める。 ①英文法・英語構文の知識を深める ②語彙を増やす ③リスニング能力を高める ④リーディング能力を高める ⑤ライティング能力を高める		成績評価の方法： 前期：期末試験 100 点＋小テスト・課題 100 点 後期：期末試験 100 点＋小テスト・課題 100 点 学年：前・後期の重みを等しくして合計し、得点率 (%) で成績をつける。成績評価には、教室外学修の内容も含まれる。 達成度評価の基準： 試験においては、以下に示す各技能を評価し、総合点の 60% 以上に達すれば合格とする。 ①英文法・英語構文の知識の獲得の度合いを測定する試験で 6 割以上できる。 ②語彙の知識の獲得の度合いを測定する試験で 6 割以上できる。 ③リスニング能力の度合いを測定する試験で 6 割以上できる。 ④リーディング能力の度合いを測定する試験で 6 割以上できる。 ⑤ライティング能力の度合いを測定する試験で 6 割以上できる。			
授業の進め方とアドバイス： 授業では多くの TOEIC 問題を取り扱うので、積極的に授業に参加し、英語表現を習得するよう努めること。授業でわからない単語を調べるので、毎回必ず辞書を持参すること。また、授業後は、習った表現をよく復習して使えるようにすること。進度は、学習者の理解度に応じて変動する場合がある。					
教科書および参考書： 『BEYOND THE BASICS OF THE TOEIC TEST』(金星堂)、教員配布のプリント					
授業の概要と予定：前期			教室外学修		
第 1 回：授業概要の説明とレベル診断テスト			次回の授業範囲の下調べ		
第 2 回：Living Arrangements			次回の授業範囲の下調べ		
第 3 回：Living Arrangements			次回の授業範囲の下調べ		
第 4 回：Party			次回の授業範囲の下調べ		
第 5 回：Party			次回の授業範囲の下調べ		
第 6 回：Airport			次回の授業範囲の下調べ		
第 7 回：Airport			次回の授業範囲の下調べ		
第 8 回：Hotel			次回の授業範囲の下調べ		
第 9 回：Hotel			次回の授業範囲の下調べ		
第 10 回：Traffic			次回の授業範囲の下調べ		
第 11 回：Traffic			次回の授業範囲の下調べ		
第 12 回：Tour / Event			次回の授業範囲の下調べ		
第 13 回：Tour / Event			次回の授業範囲の下調べ		
第 14 回：Shopping			次回の授業範囲の下調べ		
第 15 回：Shopping			これまでの授業範囲の総復習		
期末試験			—		
第 16 回：フォローアップ (期末試験の解答の解説など)			—		

授業の概要と予定：後期	教室外学修
第17回：Service	次回の授業範囲の下調べ
第18回：Service	次回の授業範囲の下調べ
第19回：Office Work	次回の授業範囲の下調べ
第20回：Office Work	次回の授業範囲の下調べ
第21回：Business	次回の授業範囲の下調べ
第22回：Business	次回の授業範囲の下調べ
第23回：Personnel	次回の授業範囲の下調べ
第24回：Personnel	次回の授業範囲の下調べ
第25回：Office Announcements	次回の授業範囲の下調べ
第26回：Office Announcements	次回の授業範囲の下調べ
第27回：New Products	次回の授業範囲の下調べ
第28回：New Products	次回の授業範囲の下調べ
第29回：Sales	次回の授業範囲の下調べ
第30回：Sales	次回の授業範囲の下調べ
第31回：これまでの復習・総括	これまでの授業範囲の総復習
期末試験	—
第32回：フォローアップ（期末試験の解答の解説など）	